

総合整備計画書

福島県田村市船引町 移辺地
辺地の人口 1,799人 面積 38.8km²

1 辺地の概況

(1) 辺地を構成する町又は字の名称

田村市船引町上移全域
田村市船引町北移全域
田村市船引町南移全域
田村市船引町横道全域
田村市船引町中山全域

(2) 地域の中心の位置

田村市船引町上移字町 87-2

(3) 辺地度数

157点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

移辺地は、地域の中心から田村市役所まで14.7km、地域内の生徒が通う船引中学校へは14.6km、船引高等学校へは13.6kmの距離にあり、公共機関・教育機関ともに遠方に位置している。これら公共機関等への交通手段として福島交通(株)が運行する路線バスもあるが、運行回数が少なく、自家用車や乗合タクシーの利活用が大半を占めるようになっている。

しかし、当該地域の改良率・舗装率は他地域と比べ未だに低く、また、当該地域の一部集落を通過する市道等では、災害や救急など緊急車両等の通行に支障をきたすことが考えられるなど、地域住民にとっては不安や不便を余儀なくされており、車等の普及に対応した道路の改良・整備が急務となっている。

このようなことから、地域住民の日常生活における利便性向上と安心安全に通行できる道路の確保が必要不可欠であり、計画的に整備を図る必要がある。

また、本辺地は区域も広大であり、学校まで遠距離通学となる児童・生徒も多く、登下校の安全確保のためにスクールバスを2台運行している。しかし、導入から18年が経過し、老朽化が進んでいることから、計画的にスクールバスの更新を図っていく必要がある。

3 公共的施設の整備計画

令和3年度から令和7年度まで 5カ年（別紙計画書のとおり）

(別紙)

公共施設の整備計画

(単位：千円)

施設名	事業主体名	事業費	財源内訳		一般財源のうち 辺地対策事業債の 予定額	備考
			特定財源	一般財源		
市道越田和線 道路整備事業 【令和3年度～令和7年度】 ○道路改良・舗装 L=855m W=4.0 (5.0) m	田村市	105,000	0	105,000	105,000	
緑小スクールバス購入事業 【令和4年度】 ○内容・規格等 マイクロバス (更新) 1台 マイクロバス (新規) 1台	田村市	23,754	7,500	16,254	16,254	
合	計	128,754	7,500	121,254	121,254	